メソッドMUTB

変額個人年金保険Ⅱ型2003

＜自由選択コース＞

特別勘定の月次運用レポート
2024年8月末現在

〇市場概況
〇特別勘定の運用状況
〇組入投資信託の運用レポート

変額個人年金保険のリスクと手数料について

●変額個人年金保険は一時払保険料をファンドで運用します。ファンドの主要投資対象である投資信託は、国内外の株式・債券等で運用しており、運用実績が保険金額や資産残高・将来の年金額等の増減につながるため、株価や債券価格の下落、為替の変動により、資産残高、解約払戻金額は払込保険料を下回ることがあり、損失が生じるおそれがあります。

●変額個人年金保険は預金等ではなく、預金保険制度ならびに投資者保護基金の対象ではありません。
●受取総額が一時払保険料相当額を下回ること（元本割れリスク）があります。
●保険関係費用：ご契約の新規成立・維持等や死亡・災害死亡の保障等をするための費用です。運用期間中、資産残高に対して年率2.10%の割合で資産残高から毎日控除されます。
●運用関係費用：ファンドの運用にかかる費用です。主にファンドが投資する投資信託の信託報酬で、信託財産に対して最大で年率1.00%（マネーファンド MBにかかる最大の費用です。当特別勘定が投資する三菱UFJ MRF（マネー・リザーブ・ファンド）は公社債投資信託である為、当投資信託の信託報酬に消費税は課されません。）の割合で信託財産から毎日控除されます。運用手法の変更等の理由により将来変更される可能性があります。
●年金管理費：年金支払の管理にかかる費用です。年金の受取期間中、年金額に対して1%の割合で責任準備金から年金受取時に控除されます。
●解約控除：ご契約日および増額日からその日を含めて7年未満の解約、一部解約（特別引出を除く）をした場合にかかります。ご契約日からの経過年数に応じて、解約控除対象額※の7%～1%の割合で解約日の資産残高または一部解約請求額から控除されます。
※解約控除対象額は、解約の場合は一時払保険料相当額、一部解約の場合は一部解約請求額と一時払保険料相当額のうちいずれか小さい方の金額となります。なお、過去に一部解約があった場合はその際の解約控除対象額が一時払保険料相当額から差し引かれます。

＊この商品にかかる費用の合計額は、「運用期間中の費用（「保険関係費用」「運用関係費用」）」と「年金受取期間中の費用（「年金管理費」）」の合計額となります。また、特定のお客さまには「解約控除」がかかります。

・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定（ファンド）グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関る会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

［引受保険会社］ オリックス生命保険株式会社

本商品につきましては、新規のご契約のお取り扱いを行っておりません。

ただし、既に本商品をご契約されているお客様につきましては、ご契約後の各種手続のお取り扱いを行っております。

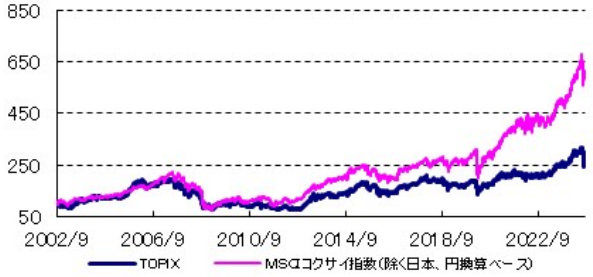
（管）ORI-050

市　　場　　概　　況

	代表的な指標の騰落率	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年
日本株式	日経平均株価	▲ 1.16%	0.42%	▲ 1.32%	18.48%	37.59%
	TOPIX（東証株価指数）	▲ 2.92%	▲ 2.16%	1.38%	16.32%	38.35%
日本債券	NOMURA－BPI総合	1.17%	1.34%	▲ 1.52%	▲ 1.75%	▲ 6.99%
外国株式	MSCIコクサイ指数（除く日本、円換算ベース）	▲ 1.87%	▲ 1.90%	5.38%	20.47%	53.01%
外国債券	FTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）	▲ 3.54%	▲ 2.45%	1.03%	6.61%	14.55%
外国為替	米ドル対円為替レート（仲値）	▲ 5.01%	▲ 7.62%	▲ 3.90%	▲ 0.96%	31.76%

日経平均株価(円)の推移

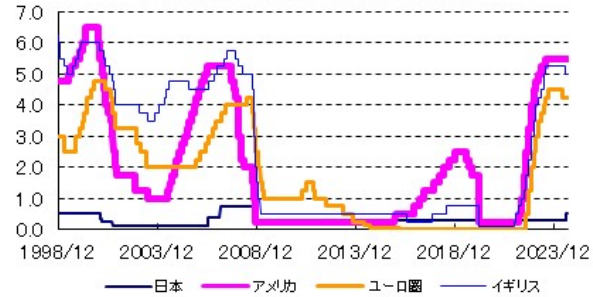
日本と外国の株式市場パフォーマンス推移



＊上記グラフは、2002年9月末を100として指数化しています。

日本の国債利回り(%)の推移

先進各国の政策金利(%)の推移



日本と外国の債券市場パフォーマンス推移

＊上記グラフは、2002年9月末を100として指数化しています。

外国為替レート(円)の推移

全てのデータの出所はBloomberg、野村総合研究所です。NOMURA-BPIとは、日本国内債券市場で発行されている代表的な公社債の流通動向を的確に表す投資収益指数です。当指数は、野村フィデューシャリー・リサーチ＆コンサルティング株式会社によって計算、公表されている、野村フィデューシャリー・リサーチ＆コンサルティング株式会社の知的財産です。なお、同社は、当指数を用いて運用されるファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。MSCIコクサイ指数とは、MSCI Inc.が所有する株価指数で、世界の主要先進国の株式市場の動きを捉える基準として、広く認知されているものです。FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

※運用状況については、組入投資信託の運用レポートをご覧ください。

・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定（ファンド）グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関る会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。
したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

特別勘定（ファンド）グループ

特別勘定と投資対象の投資信託

特別勘定	運用資産				投資対象の投資信託	運用会社	資産配分(%)		資産合計
	株式		債券				投資信託	現預金その他	（百万円）
	日本	外国	日本	外国					
日本株式ファンド MT	●				三菱UFJ 日本株式オープンVA＊	三菱UFJアセットマネジメント株式会社	96.6%	3.4%	372
日本株式グロースファンド FIC	●				フィデリティ・日本成長株・ファンドVA3＊	フィデリティ投信株式会社	97.1%	2.9%	906
日本株式バリューファンド MT	●				三菱UFJ システムバリューオープンVA＊	三菱UFJアセットマネジメント株式会社	96.9%	3.1%	387
日本株式インデックスファンド MT	●				三菱UFJ トピックスオープンVA＊	三菱UFJアセットマネジメント株式会社	97.0%	3.0%	18
外国株式ファンド MT		●			三菱UFJ 海外株式オープンVA＊	三菱UFJアセットマネジメント株式会社	97.4%	2.6%	710
外国債券ファンド MT				●	三菱UFJ 海外債券オープンVA＊	三菱UFJアセットマネジメント株式会社	97.7%	2.3%	97
世界バランスファンド 25 MT	●	●	●	●	三菱UFJ 世界バランスファンド 25VA＊	三菱UFJアセットマネジメント株式会社	95.9%	4.1%	167
世界バランスファンド 50 MT	●	●	●	●	三菱UFJ 世界バランスファンド 50VA＊	三菱UFJアセットマネジメント株式会社	96.9%	3.1%	1,076
マネーファンド MB			●		三菱UFJ MRF（マネー・リザーブ・ファンド）	三菱UFJアセットマネジメント株式会社	97.0%	3.0%	157

＊適格機関投資家専用に設定される投資信託です。

投資信託の運用方針

投資対象の投資信託	運用方針
三菱UFJ 日本株式オープンVA＊	成長力の高い銘柄や企業価値に対して株価が割安と判断され、かつ株価上昇が期待できる銘柄を選択し投資することによって、東証株価指数（TOPIX）（配当込み）を中長期的に上回る運用成果の獲得を目指します。
フィデリティ・日本成長株・ファンドVA3＊	成長企業の株式に投資することにより、TOPIX（東証株価指数）を上回る投資成果を目指します。市場平均等に比較し成長力があり、その持続が長期的に可能と判断される成長企業を独自の個別企業分析により選定し投資を行います。
三菱UFJ システムバリューオープンVA＊	独自に開発した「理論価格モデル」システムによって本来あるべき価格（理論株価）に対する割安度に着目し銘柄を選定することによって、東証株価指数（TOPIX）（配当込み）を長期的に上回る運用成果の獲得を目指します。
三菱UFJ トピックスオープンVA＊	主に日本の上場株式に投資し、日本株式市場の代表的指数であるTOPIX（東証株価指数）（配当込み）に連動した投資成果を目指します。株式の実質組入比率は100%を基本とします。
三菱UFJ 海外株式オープンVA＊	主に日本を除く世界主要国の上場株式に投資し、世界株式市場の代表的指数であるMSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円換算ベース）に対し中長期的に上回る投資成果の獲得を目指します。
三菱UFJ 海外債券オープンVA＊	主に日本を除く世界主要国の債券に投資し、世界債券市場の代表的指数であるFTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース）に対し中長期的に上回る投資成果の獲得を目指します。
三菱UFJ 世界バランスファンド 25VA＊	主に日本を含む世界各国の株式と債券にバランスよく投資し、中長期的に安定的な成長を目指します。資産配分はあらかじめ定められた標準組入比率にしたがいます。株式の標準組入比率は25%です。
三菱UFJ 世界バランスファンド 50VA＊	主に日本を含む世界各国の株式と債券にバランスよく投資し、中長期的に安定的な成長を目指します。資産配分はあらかじめ定められた標準組入比率にしたがいます。株式の標準組入比率は50%です。
三菱UFJ MRF（マネー・リザーブ・ファンド）	内外の公社債およびコマーシャル・ペーパーを中心に投資し、安定した収益の確保を目指します。投資対象とする有価証券は信用度が高く、残存期間が短いものとします。外貨建資産への投資については、円貨で約定・決済するもの（為替リスクの生じないもの）に限ります。

＊適格機関投資家専用に設定される投資信託です。

・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定（ファンド）グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関る会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

特別勘定 ユニットプライスと収益率の推移

日本株式ファンド MT

期間収益率	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	43.48%

日本株式グロースファンド FIC

期間収益率	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
	−4.06%	−3.05%	0.04%	8.34%	11.16%	130.14%

日本株式バリューファンド MT

期間収益率	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
	−2.20%	0.15%	3.83%	17.76%	39.05%	72.59%

日本株式インデックスファンド MT

期間収益率	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	0.00%	37.50%

外国株式ファンド MT

期間収益率	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
	−3.77%	−6.64%	−2.14%	15.36%	30.81%	274.00%

外国債券ファンド MT

期間収益率	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
	−2.67%	−3.62%	−0.98%	2.05%	5.36%	40.50%

※特別勘定のユニットプライスは当初100で設定されております。

・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定（ファンド）グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関る会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。
したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

特別勘定 ユニットプライスと収益率の推移

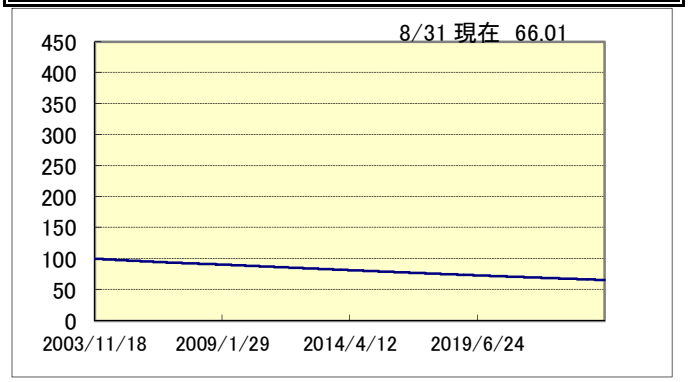
世界バランスファンド25 MT

期間収益率	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
	−2.39%	−3.55%	−1.58%	3.42%	9.25%	64.89%

世界バランスファンド50 MT

期間収益率	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
	−2.81%	−4.20%	−1.78%	6.11%	17.74%	112.20%

マネーファンド MB



期間収益率	1カ月	3カ月	6カ月	1年	3年	設定来
	0.00%	−0.04%	−0.53%	−1.56%	−5.57%	−33.99%

※特別勘定のユニットプライスは当初100で設定されております。

・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定（ファンド）グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関る会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

組入投資信託の運用レポート

【特別勘定名】
日本株式ファンド MT

【特別勘定が投資する投資信託】
三菱UFJ 日本株式オープンVA（適格機関投資家限定）

【運用会社】
三菱UFJアセットマネジメント株式会社

主要投資対象

日本の株式。主に三菱UFJ 国内株式アクティブマザーファンド受益証券を通じて投資が行われます。

運　用　方　針

成長力の高い銘柄や企業価値に対して株価が割安と判断され、かつ株価上昇が期待できる銘柄を選択し投資することによって、東証株価指数（TOPIX）（配当込み）を中長期的に上回る運用成果の獲得を目指します。

■商品概要

形態	追加型株式投資信託/国内株式型（一般型）
主要投資対象	日本の株式
運用方針	・東証株価指数（TOPIX）（配当込み）をベンチマークとして、これを中長期的に上回る投資成果を目指します。 ・銘柄選択にあたっては、以下の2つの観点から行います。 ①中長期的な成長力の高い銘柄や業績改善度の大きい銘柄を選択 ②企業価値に対して株価が割安と判断され、かつ株価上昇が期待できる銘柄を選択 ・株式の実質組入比率は高位（通常の状態で90%以上）を基本とします。
設定日	2002年8月30日
信託期間	無期限
決算日	毎年2月15日（休業日の場合、翌営業日）

■基準価額および純資産総額

基準価額（1万口当たり）	41,749円
前月末比	−1,484円
純資産総額	4.09億円

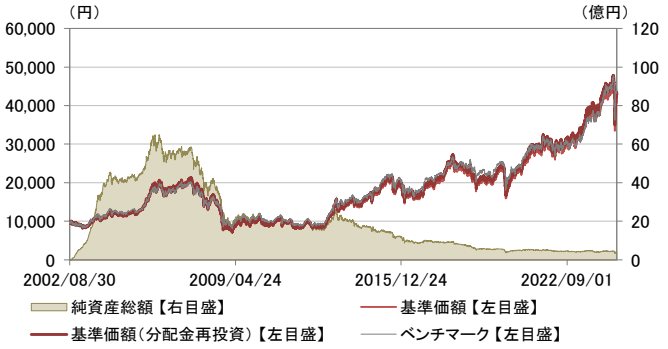
■分配金実績（1万口当たり、税引前）

決算期	決算日	分配金
第22期	2024/02/15	0円
第21期	2023/02/15	0円
第20期	2022/02/15	0円
第19期	2021/02/15	0円
第18期	2020/02/17	0円
第17期	2019/02/15	0円
設定来累計		600円

■資産構成

	比率
実質国内株式	96.0%
内　現物	96.0%
内　先物	0.0%
コールローン他	4.0%

■基準価額および純資産総額の推移



・基準価額、基準価額（分配金再投資）は、運用管理費用（信託報酬）控除後の値です。
・基準価額（分配金再投資）は、分配金（税引前）を再投資したものとして計算しています。
・ベンチマークは、設定日前営業日を10,000として指数化しています。
・2023年12月29日に、当ファンドのベンチマークを「配当除く指数」から「配当込み指数」へ変更しました。

■騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	−3.4%	−4.3%	−1.9%	8.9%	46.4%	334.4%
ベンチマーク	−2.9%	−2.0%	2.6%	19.0%	48.9%	342.2%

・実際のファンドでは、課税条件によってお客さまごとの騰落率は異なります。
　また、換金時の費用・税金等は考慮していません。
・設定来のファンドの騰落率は、10,000を起点として計算しています。
・分配金実績がある場合は、分配金（税引前）を再投資したものとして計算しています。

■組入上位10業種

	業種	比率	ベンチマーク構成比
1	電気機器	19.4%	17.5%
2	サービス業	12.3%	4.8%
3	輸送用機器	9.2%	7.5%
4	情報・通信業	6.8%	7.5%
5	銀行業	6.5%	7.6%
6	機械	6.2%	5.3%
7	化学	5.8%	5.7%
8	保険業	5.3%	3.1%
9	卸売業	4.9%	7.3%
10	建設業	2.7%	2.1%

■組入上位10銘柄

組入銘柄数: 56銘柄

	銘柄	業種	比率	ベンチマーク構成比
1	三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	4.2%	2.4%
2	日立製作所	電気機器	4.0%	2.3%
3	川崎重工業	輸送用機器	3.2%	0.1%
4	トヨタ自動車	輸送用機器	3.2%	3.8%
5	ソフトバンクグループ	情報・通信業	3.0%	1.1%
6	三菱商事	卸売業	2.7%	1.6%
7	第一三共	医薬品	2.6%	1.4%
8	大阪ソーダ	化学	2.5%	0.0%
9	楽天グループ	サービス業	2.4%	0.2%
10	オリエンタルランド	サービス業	2.4%	0.6%

■運用担当者コメント（マザーファンドベース）

今月の国内株式市況（TOPIX）は前月末を下回る水準で取引を終えました。
月初に米国で景気後退の可能性を示唆する経済指標が発表されたことに加え、外国為替市場で日米金利差の縮小を見込んだ円高米ドル安が急速に進行したことなどから大きく下落しました。その後は米国で景気の堅調さを示す経済指標が出てきたことや、2024年4-6月期国内企業決算が概ね堅調であったことなどを背景に過度な懸念が払しょくされたことから回復基調をたどりました。
今月のファンド騰落率は、ベンチマークを下回る結果となりました。業種配分効果については、サービス業、証券、商品先物取引業などがプラスに寄与、小売業、医薬品などがマイナスに影響しました。銘柄選択効果については、守谷輸送機工業、楽天グループなどがプラスに寄与、太陽誘電、日本シイエムケイなどがマイナスに影響しました。今月の売買では、業績期待が高くかつ割安感のある銘柄へスイッチする方針の下、アドバンテスト、サンウェルズなどの組入比率を引き上げました。
日銀が政策金利の引き上げを実施した一方で、米国においては金融緩和が見込まれるなど、金融政策変更による金融環境の変化が見込まれることなどから、当面の国内株式市況については値動きの大きい展開になると考えています。
このような認識を踏まえ、当ファンドの運用コンセプトとしているボトムアップによる銘柄選択効果を更に追求すべく、リサーチに基づく企業分析に注力し、成長性とバリュエーションを考慮した銘柄選択を行っていく方針です。（運用主担当者：長尾　衛）

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入しています。・原則として、比率は純資産総額に対する割合です。・コールローン他は未収・未払項目が含まれるため、マイナスとなる場合があります。・業種は、東証33業種で分類しています。・市況の変動等により方針通りの運用が行われない場合があります。・東証株価指数（TOPIX）（配当込み）とは、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、浮動株ベースの時価総額加重方式により算出される株価指数です。TOPIXの指数値及びTOPIXに係る標章又は商標は、株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社（以下「JPX」という。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用などTOPIXに関するすべての権利・ノウハウ及びTOPIXに係る標章又は商標に関するすべての権利はJPXが有します。

・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定（ファンド）グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関る会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。
　したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

組入投資信託の運用レポート

【特別勘定名】
日本株式グロースファンド FIC

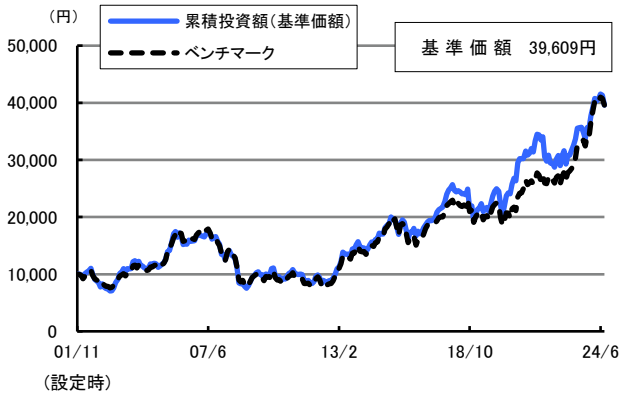
【特別勘定が投資する投資信託】
フィデリティ・日本成長株・ファンドVA3（適格機関投資家専用）

【運用会社】
フィデリティ投信株式会社

主要投資対象
日本の上場株式。主にフィデリティ・日本成長株・マザーファンド受益証券を通じて投資が行われます。

運 用 方 針
成長企業の株式に投資することにより、TOPIX（東証株価指数）を上回る投資成果を目指します。市場平均等に比較し成長力があり、その持続が長期的に可能と判断される成長企業を独自の個別企業分析により選定し投資を行い、信託財産の成長を目指します。

設定来の運用実績　（2024年8月30日現在）



※累積投資額は、ファンド設定時に10,000円でスタートしてからの収益分配金を再投資した実績評価額です。ただし、購入時手数料および収益分配金にかかる税金は考慮していません。ベンチマークはファンド設定日前日を10,000円として計算しています。※基準価額は運用管理費用控除後のものです。※当該実績は過去のものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

累積リターン　（2024年8月30日現在）

	直近1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
ファンド	−4.10%	−2.73%	1.04%	10.95%	18.88%	296.09%
ベンチマーク	−2.90%	−2.02%	2.57%	18.99%	48.92%	295.88%

※ 累積リターンは、収益分配金を再投資することにより算出された収益率です。
※ ベンチマーク：TOPIX（配当込）

＊TOPIX（配当込）は、日本の株式市場を広範に網羅するとともに投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、浮動株ベースの時価総額加重方式により算出されており、配当を考慮したものです。
＊東証株価指数（TOPIX）（以下「TOPIX」という。）の指数値及びTOPIXに係る標章又は商標は、株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社（以下「JPX」という。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用などTOPIXに関するすべての権利・ノウハウ及びTOPIXに係る標章又は商標に関するすべての権利はJPXが有します。JPXは、TOPIXの指数値の算出又は公表の誤謬、遅延又は中断に対し、責任を負いません。

過去5期分の収益分配金（1万口当たり／税込）

第 18期(2019.12.02)	0円
第 19期(2020.11.30)	0円
第 20期(2021.11.30)	0円
第 21期(2022.11.30)	0円
第 22期(2023.11.30)	0円

純資産総額	1,420.7 億円	（2024年8月30日現在）

コメント　（2024年8月30日現在）

当月の東京株式市場は、月初に記録的な急落に見舞われましたが、その後は急回復して下げ幅を大きく縮めました。
前月末に日銀が利上げを決定し、追加利上げにも前向きな姿勢を示したことで、円高が急速に進む中、株価は急落して始まりました。米雇用統計で失業率が市場予想以上に上昇したことが引き金となって米景気の後退懸念が一気に高まると、これまで積み上がっていた買い持ち高が一気に巻き戻され、日経平均株価は5日に史上最大の下げ幅となる4,451円安を記録しました。ただその翌日には急速な円高進行が収まったことなどから急反発し、その後も日銀副総裁の追加利上げに慎重な発言が支援材料となったほか、米国で堅調な景気やインフレの鈍化を示す経済指標が相次いで米景気の軟着陸期待が高まる中で、戻り足を速めていきました。下旬は、米連邦準備制度理事会（FRB）議長の9月利下げを示唆する発言を受けて進んだ円高や、米半導体大手の決算発表を控えた警戒感などが重石となったものの、緩やかに上昇して月を終えました。
月間の騰落率は、TOPIX（配当込）が－2.90%、日経平均株価は－1.16%でした。

※上記コメントは、資料作成時点におけるもので将来の市場環境等の変動等を保証するものではありません。

組入上位10銘柄（マザーファンド・ベース）　（2024年7月31日現在）

	銘 柄	業 種	比率
1	三菱UFJﾌｨﾅﾝｼｬﾙ･ｸﾞﾙｰﾌﾟ	銀行業	4.2%
2	三井住友ﾌｨﾅﾝｼｬﾙｸﾞﾙｰﾌﾟ	銀行業	3.9%
3	ｿﾆｰｸﾞﾙｰﾌﾟ	電気機器	3.6%
4	伊藤忠商事	卸売業	3.5%
5	ｷｰｴﾝｽ	電気機器	3.1%
6	信越化学工業	化学	3.1%
7	日立製作所	電気機器	2.9%
8	東京海上ﾎｰﾙﾃﾞｨﾝｸﾞｽ	保険業	2.8%
9	東京ｴﾚｸﾄﾛﾝ	電気機器	2.6%
10	本田技研工業	輸送用機器	2.4%

（ 組入銘柄数 ： 176 ）　上位10銘柄合計　32.1%
（対純資産総額比率）

ポートフォリオの状況（マザーファンド・ベース）　（2024年7月31日現在）

資産別組入状況

株式	98.7%
新株予約権証券(ﾜﾗﾝﾄ)	−
投資信託・投資証券	−
現金・その他	1.3%

市場別組入状況

東証プライム	96.5%
東証スタンダード	1.9%
東証グロース	0.3%
その他市場	−

組入上位5業種

電気機器	20.9%
銀行業	9.7%
輸送用機器	8.2%
卸売業	6.9%
化学	6.0%

（対純資産総額比率）

＊各々のグラフ、表にある比率は、それぞれの項目を四捨五入して表示しています。
＊業種は東証33業種に準じて表示しています。
＊未払金等の発生により「現金・その他」の数値がマイナスになることがあります。

・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定（ファンド）グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関る会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

組入投資信託の運用レポート

【特別勘定名】
日本株式バリューファンド MT

【特別勘定が投資する投資信託】
三菱UFJ システムバリューオープンVA（適格機関投資家限定）

【運用会社】
三菱UFJアセットマネジメント株式会社

主要投資対象
日本の株式。主に三菱UFJ システムバリューマザーファンド受益証券を通じて投資が行われます。

運　用　方　針
独自に開発した「理論価格モデル」システムによって本来あるべき価格（理論株価）に対する割安度に着目し銘柄を選定することによって、東証株価指数（TOPIX）（配当込み）を長期的に上回る運用成果の獲得を目指します。

■商品概要

形態	追加型株式投資信託/国内株式型（一般型）
主要投資対象	日本の株式
運用方針	①日本の株式を主要投資対象とし、本来あるべき価格（理論価格）に対する割安度に着目した銘柄選択を行うバリュー型のファンドです。 ②東証株価指数（TOPIX）（配当込み）をベンチマークとして、これを中長期的に上回る投資成果を目指します。 ③各銘柄の理論株価および理論株価に対する割安度の測定については、三菱UFJ信託銀行グループが独自に開発した「理論株価モデル」を活用します。 ④ポートフォリオの構築にあたっては、割安度を最大にしつつ、業種構成や規模構成など割安度以外の要素についてはベンチマークと同程度となるように、最適化を図ります。 ⑤株式の実質組入比率は高位（通常の状態で90%以上）を維持します。
設定日	2002年8月30日
信託期間	無期限
決算日	毎年3月15日（休業日の場合、翌営業日）

■基準価額および純資産総額

基準価額（1万口当たり）	30,417円
前月末比	−672円
純資産総額	3.89億円

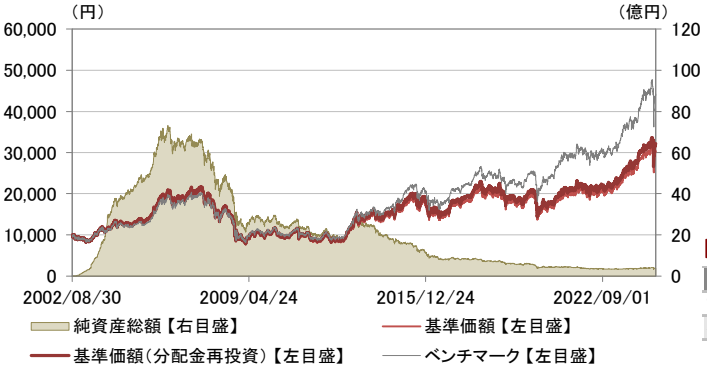
■分配金実績（1万口当たり、税引前）

決算期	決算日	分配金
第22期	2024/03/15	0円
第21期	2023/03/15	0円
第20期	2022/03/15	0円
第19期	2021/03/15	0円
第18期	2020/03/16	0円
第17期	2019/03/15	0円
設定来累計		800円

■資産構成

	比率
実質国内株式	97.4%
内　現物	97.4%
内　先物	0.0%
コールローン他	2.6%

■基準価額および純資産総額の推移



・基準価額、基準価額（分配金再投資）は、運用管理費用（信託報酬）控除後の値です。
・基準価額（分配金再投資）は、分配金（税引前）を再投資したものとして計算しています。
・ベンチマークは、設定日前営業日を10,000として指数化しています。
・2024年1月31日に、当ファンドのベンチマークを「配当除く指数」から「配当込み指数」へ変更しました。

■騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	−2.2%	0.6%	5.0%	20.8%	49.7%	221.6%
ベンチマーク	−2.9%	−2.0%	2.6%	19.0%	48.9%	342.2%

・実際のファンドでは、課税条件によってお客さまごとの騰落率は異なります。
　また、換金時の費用・税金等は考慮していません。
・設定来のファンドの騰落率は、10,000を起点として計算しています。
・分配金実績がある場合は、分配金（税引前）を再投資したものとして計算しています。

■組入上位10業種

	業種	比率	ベンチマーク構成比
1	サービス業	16.7%	4.8%
2	機械	12.5%	5.3%
3	銀行業	10.1%	7.6%
4	情報・通信業	9.9%	7.5%
5	電気機器	8.1%	17.5%
6	小売業	6.1%	4.3%
7	食料品	5.8%	3.2%
8	化学	5.0%	5.7%
9	鉄鋼	3.4%	0.9%
10	輸送用機器	3.2%	7.5%

■組入上位10銘柄

組入銘柄数: 77銘柄

	銘柄	業種	比率	ベンチマーク構成比
1	ソフトバンク	情報・通信業	4.4%	0.9%
2	三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	4.1%	1.7%
3	キヤノン	電気機器	4.0%	0.7%
4	日本たばこ産業	食料品	3.9%	0.7%
5	小松製作所	機械	3.5%	0.5%
6	みずほフィナンシャルグループ	銀行業	3.2%	1.0%
7	SANKYO	機械	3.1%	0.1%
8	パーソルホールディングス	サービス業	2.8%	0.1%
9	信越化学工業	化学	2.8%	1.5%
10	ZOZO	小売業	2.8%	0.1%

■運用担当者コメント（マザーファンドベース）

独自の理論株価モデルで算出される割安度が高い銘柄を多く組み入れつつ、業種構成や規模構成などの要素についてはベンチマーク（東証株価指数（TOPIX）（配当込み））と過度にカイ離しないようにポートフォリオを構築し運用しました。

8月のパフォーマンスは、運用方針に基づき組み入れた銘柄の中で三井住友フィナンシャルグループ、みずほフィナンシャルグループ、阪和興業等の銘柄がマイナスに影響したものの、SANKYO、トレンドマイクロ、ネットワンシステムズ等の銘柄がプラスに寄与したことにより、ファンド全体ではベンチマークを上回りました。

今後におきましては、個別銘柄ベースでの業績予想や株価水準が大きく変化した場合には、割安度を再算出し、割安度を維持するために銘柄入替を行う方針です。（運用責任者：加納　良樹）

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入しています。・原則として、比率は純資産総額に対する割合です。・コールローン他は未収・未払項目が含まれるため、マイナスとなる場合があります。・業種は、東証33業種で分類しています。・市況の変動等により方針通りの運用が行われない場合があります。・東証株価指数（TOPIX）（配当込み）とは、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、浮動株ベースの時価総額加重方式により算出される株価指数です。TOPIXの指数値及びTOPIXに係る標章又は商標は、株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社（以下「JPX」という。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用などTOPIXに関するすべての権利・ノウハウ及びTOPIXに係る標章又は商標に関するすべての権利はJPXが有します。

・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定（ファンド）グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関る会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。
　したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

組入投資信託の運用レポート

【特別勘定名】
日本株式インデックスファンド MT

【特別勘定が投資する投資信託】
三菱UFJ トピックスオープンVA（適格機関投資家限定）

【運用会社】
三菱UFJアセットマネジメント株式会社

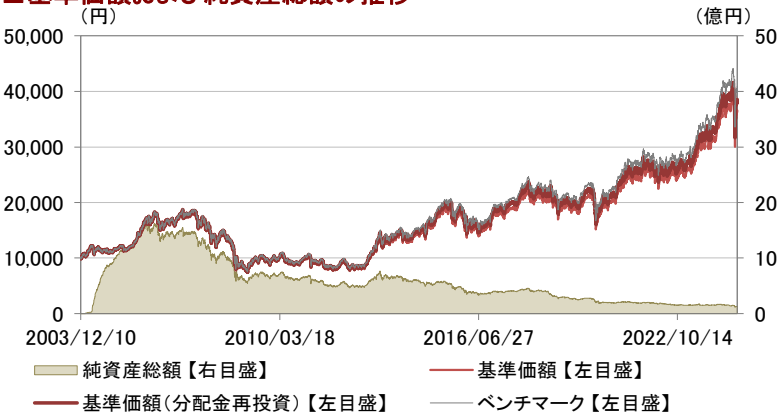
主要投資対象
日本の株式。主にTOPIXマザーファンド受益証券を通じて投資が行われます。

運　用　方　針
主に日本の上場株式に投資し、日本株式市場の代表的指数であるTOPIX（東証株価指数）（配当込み）に連動した投資成果を目指します。株式の実質組入比率は100%を基本とします。

■商品概要

形態	追加型株式投資信託/インデックス型（TOPIX連動型）
主要投資対象	日本の株式
運用方針	①日本の株式を主要投資対象とし、東証株価指数（TOPIX）（配当込み）に連動した投資成果を目指します。②東京証券取引所上場銘柄を中心に分散投資を行い、東証株価指数（TOPIX）（配当込み）に連動するようにポートフォリオ管理を行います。③運用の効率化を図るため、TOPIX先物等を利用します。④現物株式の組入比率に先物取引等の建玉比率を加減した実質株式組入比率は100%を基本とします。
設定日	2003年12月10日
信託期間	無期限
決算日	毎年3月15日（休業日の場合、翌営業日）

■基準価額および純資産総額の推移



・基準価額、基準価額（分配金再投資）は、運用管理費用（信託報酬）控除後の値です。
・基準価額（分配金再投資）は、分配金（税引前）を再投資したものとして計算しています。
・ベンチマークは、設定日前営業日を10,000として指数化しています。
・2019年7月1日に当ファンドのベンチマークを「配当除く指数」から「配当込み指数」へ変更しました。

■騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	−2.9%	−2.1%	2.4%	18.6%	47.5%	285.5%
ベンチマーク	−2.9%	−2.0%	2.6%	19.0%	48.9%	309.5%

・実際のファンドでは、課税条件によってお客さまごとの騰落率は異なります。
　また、換金時の費用・税金等は考慮していません。
・設定来のファンドの騰落率は、10,000を起点として計算しています。
・分配金実績がある場合は、分配金（税引前）を再投資したものとして計算しています。

■基準価額および純資産総額

基準価額（1万口当たり）	36,622円
前月末比	−1,097円
純資産総額	1.31億円

■分配金実績（1万口当たり、税引前）

決算期	決算日	分配金
第21期	2024/03/15	0円
第20期	2023/03/15	0円
第19期	2022/03/15	0円
第18期	2021/03/15	0円
第17期	2020/03/16	0円
第16期	2019/03/15	0円
設定来累計		700円

■資産構成

	比率
実質国内株式	100.4%
内　現物	99.2%
内　先物	1.2%
コールローン他	−0.4%

■組入上位10業種

	業種	比率	ベンチマーク構成比
1	電気機器	17.4%	17.5%
2	銀行業	7.5%	7.6%
3	輸送用機器	7.5%	7.5%
4	情報・通信業	7.4%	7.5%
5	卸売業	7.3%	7.3%
6	化学	5.6%	5.7%
7	機械	5.3%	5.3%
8	医薬品	5.1%	5.1%
9	サービス業	4.7%	4.8%
10	小売業	4.3%	4.3%

■組入上位10銘柄

組入銘柄数: 2,133銘柄

	銘柄	業種	比率	ベンチマーク構成比
1	トヨタ自動車	輸送用機器	3.8%	3.8%
2	ソニーグループ	電気機器	2.6%	2.6%
3	三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	2.4%	2.4%
4	日立製作所	電気機器	2.3%	2.3%
5	キーエンス	電気機器	1.8%	1.8%
6	リクルートホールディングス	サービス業	1.7%	1.8%
7	三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	1.7%	1.7%
8	三菱商事	卸売業	1.6%	1.6%
9	信越化学工業	化学	1.5%	1.5%
10	伊藤忠商事	卸売業	1.4%	1.4%

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入しています。・原則として、比率は純資産総額に対する割合です。・コールローン他は未収・未払項目が含まれるため、マイナスとなる場合があります。・業種は、東証33業種で分類しています。・市況の変動等により方針通りの運用が行われない場合があります。・東証株価指数（TOPIX）（配当込み）とは、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、浮動株ベースの時価総額加重方式により算出される株価指数です。TOPIXの指数値及びTOPIXに係る標章又は商標は、株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社（以下「JPX」という。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用などTOPIXに関するすべての権利・ノウハウ及びTOPIXに係る標章又は商標に関するすべての権利はJPXが有します。

・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定（ファンド）グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関る会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。
　したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

組入投資信託の運用レポート

【特別勘定名】
外国株式ファンド MT

【特別勘定が投資する投資信託】
三菱UFJ 海外株式オープンVA（適格機関投資家限定）

【運用会社】
三菱UFJアセットマネジメント株式会社

主要投資対象

日本を除く世界の株式。主に三菱UFJ 海外株式アクティブマザーファンド受益証券を通じて投資が行われます。

運　用　方　針

主に日本を除く世界主要国の上場株式に投資し、世界株式市場の代表的指数であるMSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円換算ベース）に対し中長期的に上回る投資成果の獲得を目指します。

■商品概要

形態	追加型株式投資信託/国際株式型（一般型）
主要投資対象	日本を除く世界主要国の株式
運用方針	・MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円換算ベース）をベンチマークとして、これを中長期的に上回る投資成果をめざします。 ・カントリーアロケーションと銘柄選択の双方におけるアクティブ戦略により、超過収益の獲得をめざします。 ・実質組入外貨建資産の為替変動リスクに対するヘッジは原則として行いません。ただし、エクスポージャーのコントロール等を目的として為替予約取引等を活用する場合があります。 ・株式の実質組入比率は高位（通常の状態で90%以上）を基本とします。
設定日	2002年8月30日
信託期間	無期限
決算日	毎年12月15日(休業日の場合、翌営業日)

■基準価額および純資産総額

基準価額（1万口当たり）	62,079円
前月末比	−2,413円
純資産総額	8.00億円

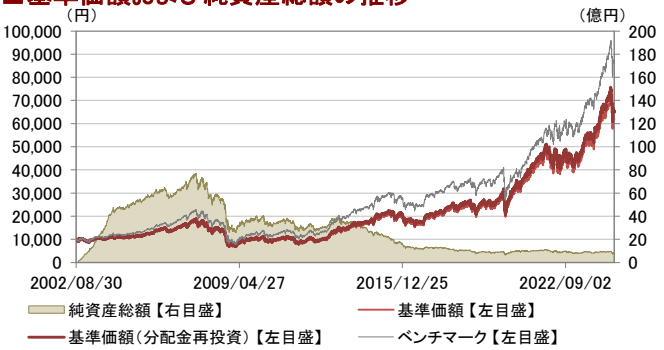
■分配金実績（1万口当たり、税引前）

決算期	決算日	分配金
第22期	2023/12/15	0円
第21期	2022/12/15	0円
第20期	2021/12/15	0円
第19期	2020/12/15	0円
第18期	2019/12/16	0円
第17期	2018/12/17	0円
設定来累計		800円

■資産構成

	比率
実質外国株式	94.5%
内　現物	94.5%
内　先物	0.0%
コールローン他	5.5%

■基準価額および純資産総額の推移



・基準価額、基準価額（分配金再投資）は、運用管理費用（信託報酬）控除後の値です。
・基準価額（分配金再投資）は、分配金（税引前）を再投資したものとして計算しています。
・ベンチマークは、設定日を10,000として指数化しています。
・2023年12月29日に、当ファンドのベンチマークを「配当除く指数」から「配当込み指数」へ変更しました。

■騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	−3.7%	−6.5%	−1.3%	18.2%	40.2%	555.8%
ベンチマーク	−1.7%	−1.6%	6.3%	22.2%	60.2%	764.7%

・実際のファンドでは、課税条件によってお客さまごとの騰落率は異なります。
　また、換金時の費用・税金等は考慮していません。
・設定来のファンドの騰落率は、10,000を起点として計算しています。
・分配金実績がある場合は、分配金（税引前）を再投資したものとして計算しています。

■組入上位10ヵ国・地域

	国・地域	比率
1	アメリカ	75.1%
2	イギリス	5.3%
3	カナダ	3.0%
4	フランス	2.5%
5	オランダ	2.1%
6	ドイツ	1.6%
7	オーストラリア	1.3%
8	スペイン	1.0%
9	香港	0.9%
10	デンマーク	0.8%

■組入上位10業種

	業種	比率
1	金融サービス	10.1%
2	ソフトウェア・サービス	10.0%
3	半導体・半導体製造装置	8.5%
4	医薬品・バイオテクノ・ライフ	7.6%
5	メディア・娯楽	6.7%
6	一般消費財・サービス流通・小売り	6.3%
7	資本財	6.2%
8	自動車・自動車部品	3.7%
9	消費者サービス	3.4%
10	素材	3.3%

■組入上位10銘柄

組入銘柄数: 75銘柄

	銘柄	国・地域	業種	比率	ベンチマーク構成比
1	MICROSOFT CORP	アメリカ	ソフトウェア・サービス	5.2%	4.5%
2	META PLATFORMS INC-CLASS A	アメリカ	メディア・娯楽	3.7%	1.8%
3	NVIDIA CORP	アメリカ	半導体・半導体製造装置	3.5%	4.6%
4	TESLA INC	アメリカ	自動車・自動車部品	3.3%	0.9%
5	CHEVRON CORP	アメリカ	エネルギー	3.1%	0.4%
6	SOFI TECHNOLOGIES INC	アメリカ	金融サービス	3.0%	―
7	AMAZON.COM INC	アメリカ	一般消費財・サービス流通・小売り	2.9%	2.5%
8	SPROUTS FARMERS MARKET INC	アメリカ	生活必需品流通・小売り	2.8%	―
9	APPLE INC	アメリカ	テクノロジ・ハードウェア・機器	2.7%	5.2%
10	HEICO CORP-CLASS A	アメリカ	資本財	2.4%	0.0%

■運用担当者コメント（マザーファンドベース）

海外株式市況は上昇しました。
月初は、雇用統計などの米経済指標が市場予想以上に悪化したことにより、米景気減速が懸念されたことを受け、株価は下落しました。その後は、米消費者物価指数（CPI）の上昇率が鈍化したことや堅調な米経済指標を背景に米景気の軟着陸期待が高まったことから、株価は上昇し、月初からの株価は上昇しました。
外国為替市況については、円に対して米ドルは下落（円高）しました。
9月は米国をはじめとするグローバルの景気見通しやインフレに加えて、米連邦公開市場委員会（FOMC）における金融政策動向が注目されます。
このような環境のもと、投資方針は、引き続き個別銘柄選択では、株価に割安感があり、独自の成長テーマを持った銘柄に注目しています。投資国配分については、北米、欧州、アジア・オセアニアともにニュートラルとします。（運用主担当者：柳原　武士）

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入しています。・原則として、比率は純資産総額に対する割合です。・コールローン他は未収・未払項目が含まれるため、マイナスとなる場合があります。・REITの組み入れがある場合、REITは株式に含めて表示しています。・国・地域は原則、主要取引所所在地で分類しています。・業種は、GICS（世界産業分類基準）で分類しています。・市況の変動等により方針通りの運用が行われない場合があります。・MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円換算ベース）は、MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、米ドルベース）をもとに、委託会社が計算したものです。また、MSCIコクサイ・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。・Global Industry Classification Standard（"GICS"）は、MSCI Inc.とS&P(Standard & Poor's)が開発した業種分類です。GICSに関する知的財産所有権はMSCI Inc.およびS&Pに帰属します。

・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定（ファンド）グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関る会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。
　したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

組入投資信託の運用レポート

【特別勘定名】
外国債券ファンド MT

【特別勘定が投資する投資信託】
三菱UFJ 海外債券オープンVA（適格機関投資家限定）

【運用会社】
三菱UFJアセットマネジメント株式会社

主要投資対象

日本を除く世界主要国の公社債。主に、三菱UFJ 海外債券アクティブマザーファンド受益証券を通じて投資が行われます。

運　用　方　針

主に日本を除く世界主要国の債券に投資し、世界債券市場の代表的指数であるFTSE世界国債インデックス（除く日本 円ベース）に対し中長期的に上回る投資成果の獲得を目指します。

■商品概要

形態	追加型株式投資信託/バランス型
主要投資対象	日本を除く世界主要国の公社債
運用方針	・FTSE世界国債インデックス（除く日本・円ベース）をベンチマークとして、これを中長期的に上回る投資成果を目指します。 ・各国のマクロ分析や金利予測に基づいて、カントリーアロケーション、デュレーションおよび残存構成のコントロール、利回り較差に着目した銘柄選択でアクティブに超過収益の獲得を目指します。 ・実質組入れ外貨建資産の為替変動リスクに対するヘッジは原則として行いません。ただし、エクスポージャーのコントロール等を目的として為替予約取引等を活用する場合があります。 ・公社債の実質組入れ比率は高位（通常の状態で90%以上）を基本とします。
設定日	2003年7月29日
信託期間	無期限
決算日	毎年12月15日(休業日の場合、翌営業日)

■基準価額および純資産総額

基準価額（1万口当たり）	20,248円
前月末比	−534円
純資産総額	1.27億円

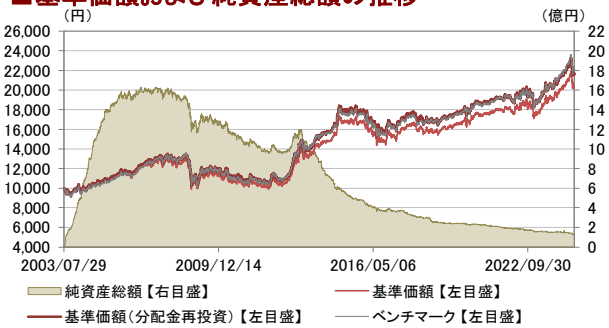
■分配金実績（1万口当たり、税引前）

決算期	決算日	分配金
第21期	2023/12/15	0円
第20期	2022/12/15	0円
第19期	2021/12/15	0円
第18期	2020/12/15	0円
第17期	2019/12/16	0円
第16期	2018/12/17	0円
設定来累計		800円

■資産構成

	比率
実質外国債券	97.5%
内　現物	97.5%
内　先物	0.0%
コールローン他	2.5%

■基準価額および純資産総額の推移



・基準価額、基準価額（分配金再投資）は、運用管理費用（信託報酬）控除後の値です。
・基準価額（分配金再投資）は、分配金（税引前）を再投資したものとして計算しています。
・ベンチマークは、設定日を10,000として指数化しています。

■残存期間別組入比率

残存期間	比率
1年未満	1.5%
1～3年	8.1%
3～5年	18.6%
5～7年	16.8%
7～10年	25.2%
10年以上	27.3%

■ポートフォリオ特性

	当月末
最終利回り	3.6%
直接利回り	3.0%
デュレーション	7.1

■債券格付分布

格付種類	比率
AAA格	55.9%
AA格	14.1%
A格	17.5%
BBB格	10.1%
BB格以下	0.0%
無格付	0.0%

■組入上位10ヵ国・地域

国・地域	比率
1 アメリカ	41.1%
2 イタリア	8.9%
3 イギリス	7.2%
4 スペイン	6.9%
5 中国	5.3%
6 ポーランド	4.1%
7 フランス	3.9%
8 国際機関	3.9%
9 ノルウェー	2.6%
10 スウェーデン	2.6%

■騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	−2.6%	−3.2%	−0.0%	4.2%	12.5%	115.9%
ベンチマーク	−3.5%	−2.5%	1.0%	6.6%	14.5%	120.3%

・実際のファンドでは、課税条件によってお客さまごとの騰落率は異なります。
　また、換金時の費用・税金等は考慮していません。
・設定来のファンドの騰落率は、10,000を起点として計算しています。
・分配金実績がある場合は、分配金（税引前）を再投資したものとして計算しています。

■組入上位10銘柄

組入銘柄数: 87銘柄

銘柄	種別	クーポン	償還日	国・地域	比率
1 2.875 T-NOTE 280815	国債	2.8750%	2028/08/15	アメリカ	6.0%
2 3.625 T-NOTE 300331	国債	3.6250%	2030/03/31	アメリカ	5.6%
3 1.875 T-NOTE 290228	国債	1.8750%	2029/02/28	アメリカ	5.5%
4 4.4 ITALY GOVT 330501	国債	4.4000%	2033/05/01	イタリア	5.2%
5 4.75 T-BOND 531115	国債	4.7500%	2053/11/15	アメリカ	2.9%
6 3.5 T-NOTE 330215	国債	3.5000%	2033/02/15	アメリカ	2.9%
7 1.25 T-NOTE 261130	国債	1.2500%	2026/11/30	アメリカ	2.8%
8 0.875 IBRD 300514	国際機関債	0.8750%	2030/05/14	国際機関	2.6%
9 4.375 T-NOTE 340515	国債	4.3750%	2034/05/15	アメリカ	2.6%
10 4.125 T-NOTE 310731	国債	4.1250%	2031/07/31	アメリカ	2.5%

■運用担当者コメント（マザーファンドベース）

【市況動向】
当月の米独長期金利は低下しました。
米国長期金利は雇用統計が市場予想を下回り景気後退懸念が高まったことなどから低下して始まりました。その後は小売売上高などの経済指標が堅調な内容だったことなどから上昇する局面もあったものの、月間では米国長期金利は低下しました。それに連動する形で欧州長期金利は低下しました。為替市場では、米ドルとユーロは対円で下落しました。上記米国景気後退懸念や欧州中央銀行（ECB）の利下げ観測の高まりを背景に、米ドルとユーロは対円で下落しました。投資行動としては、債券デュレーションは米国、欧州ともにベンチマーク比長めで維持しました。欧州圏の国別投資方針は、ドイツ、フランスをベンチマーク比少なめ、イタリア、スペインを同多めで維持し、ベルギーは8月下旬まで同少なめとし、その後中立としました。カントリーアロケーション（通貨配分）は、英ポンド、ノルウェークローネ、ポーランドズロチをベンチマーク比多め、ユーロ、中国元を同少なめで維持し、豪ドル、メキシコペソ、スウェーデンクローナを同多めから中立でコントロールしました。
【今後の運用方針】
債券デュレーションは現行の方針を基本に機動的に調整します。通貨配分では、必要に応じて現行比率の調整を行います。（運用主担当者：舩津　大輔）

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入しています。・原則として、比率は純資産総額に対する割合です。・コールローン他は未収・未払項目が含まれるため、マイナスとなる場合があります。・利回り、デュレーションは組入銘柄の純資産総額に対する比率で加重平均しています。・利回りはファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。・格付は、S&P、Moody'sのうち最も高い格付を表示しています。・なお、付加記号（＋、－等）を省略して集計し、S&Pの格付記号に基づき表示しています。・国・地域は原則、発行地で分類しています。・市況の変動等により方針通りの運用が行われない場合があります。・FTSE世界国債インデックス（除く日本・円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数のデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定（ファンド）グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関る会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。
したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

組入投資信託の運用レポート

【特別勘定名】
世界バランスファンド25 MT

【特別勘定が投資する投資信託】
三菱UFJ 世界バランスファンド 25VA（適格機関投資家限定）

【運用会社】
三菱UFJアセットマネジメント株式会社

主要投資対象

国内株式、国内債券、外国株式、外国債券。主に三菱UFJ 国内株式アクティブマザーファンド、三菱UFJ 国内債券アクティブマザーファンド、三菱UFJ 海外株式アクティブマザーファンド、三菱UFJ 海外債券アクティブマザーファンド受益証券を通じて投資が行われます。

運　用　方　針

主に日本を含む世界各国の株式と債券にバランスよく投資し、中長期的に安定的な成長を目指します。資産配分はあらかじめ定められた標準組入比率にしたがいます。

■商品概要

形態	追加型株式投資信託/バランス型
主要投資対象	国内株式、海外株式、国内債券、海外債券
運用方針	・国内株式・海外株式・国内債券・海外債券への分散投資により、信託財産の長期的な成長を目指します。 ・国内株式12.5%、海外株式12.5%、国内債券15%、海外債券60%を標準組入比率とし、これを維持します。各資産の時価変動による標準組入比率からの乖離については、1ヵ月に1回程度リバランスを行い、これを修正します。なお、リバランスに必要な資金を確保するため、保有する受益証券の一部を解約し、短期金融資産による運用とする場合があります。 ・運用は、ファミリーファンド方式で行います。 ・実質組入外貨建資産の為替変動リスクに対するヘッジは原則として行いません。 ・市況動向等を勘案して、標準組入比率の見直しを行う場合があります。 ・市況動向、資金動向等によっては、上記のような運用が行えない場合があります。
設定日	2003年12月10日
信託期間	無期限
決算日	毎年4月15日（休業日の場合、翌営業日）

■基準価額および純資産総額

基準価額（1万口当たり）	25,274円
前月末比	−599円
純資産総額	1.60億円

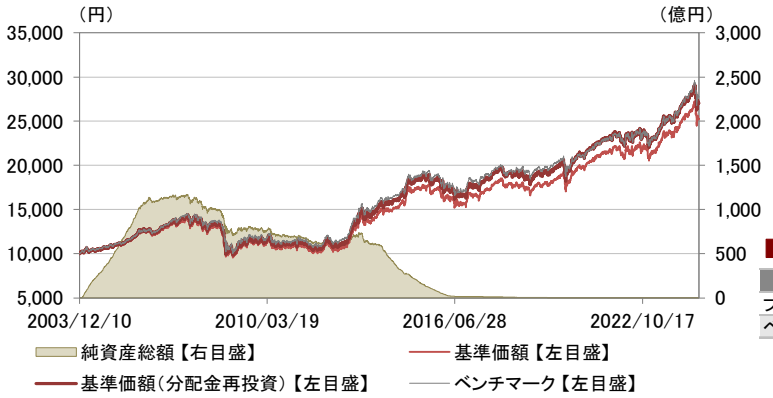
■分配金実績（1万口当たり、税引前）

決算期	決算日	分配金
第21期	2024/04/15	0円
第20期	2023/04/17	0円
第19期	2022/04/15	0円
第18期	2021/04/15	0円
第17期	2020/04/15	0円
第16期	2019/04/15	0円
設定来累計		900円

■資産構成

	基本資産配分	比率
国内株式	12.5%	12.1%
海外株式	12.5%	11.9%
国内債券	15.0%	14.4%
海外債券	60.0%	58.4%
コールローン他	0.0%	3.2%

■基準価額および純資産総額の推移



・基準価額、基準価額（分配金再投資）は、運用管理費用（信託報酬）控除後の値です。
・基準価額（分配金再投資）は、分配金（税引前）を再投資したものとして計算しています。
・ベンチマークは、設定日を10,000として指数化しています。
・2023年12月29日に、当ファンドの株式のベンチマークを「配当除く指数」から「配当込み指数」へ変更しました。

■騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	−2.3%	−3.1%	−0.6%	5.7%	16.9%	170.5%
ベンチマーク	−2.5%	−1.7%	1.5%	8.8%	20.2%	177.8%

・実際のファンドでは、課税条件によってお客さまごとの騰落率は異なります。
　また、換金時の費用・税金等は考慮していません。
・設定来のファンドの騰落率は、10,000を起点として計算しています。
・分配金実績がある場合は、分配金（税引前）を再投資したものとして計算しています。

■運用担当者コメント

8月の株式市況は米国、英国で上昇し、国内で下落しました。金利は国内、米国、ドイツで低下しました。また、為替は対円でドル、ユーロがともに下落しました。
世界経済は、2022年以降の米欧中銀主導による金融引き締めの効果が残存するものの、既に利下げを開始した欧州中央銀行（ECB）に続いて米連邦準備制度理事会（FRB）もまもなく慎重なペースでの利下げを開始すると見込まれ、サービス消費主導で底堅い成長速度を維持するとみています。米国では家計の利払い費増加等が個人消費の伸びを抑える一方、安定した雇用環境や潤沢な家計純資産等が景気を下支えるとみています。日本では内需低迷で成長率が伸び悩むものの、春闘での高い賃上げ率を受けた実質賃金増加等を背景に景気は回復に向かうとみています。

現在ファンドでは運用方針に従い、ほぼ標準組入比率（国内株式12.5%、海外株式12.5%、国内債券15%、海外債券60%）通りの組み入れとしています。今後についても、標準組入比率を維持する運用を行います。（運用責任者：加納 良樹）

■組入通貨

通貨	比率
1 米ドル	36.7%
2 日本円	28.9%
3 ユーロ	16.1%
4 英ポンド	5.1%
5 中国元	3.2%
その他	10.1%

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入しています。・原則として、比率は純資産総額に対する割合です。・コールローン他は未収・未払項目が含まれるため、マイナスとなる場合があります。・REITの組み入れがある場合、REITは株式に含めて表示しています。・組入通貨比率は、為替予約等を含めた実質的な比率です。・市況の変動等により方針通りの運用が行われない場合があります。

・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定（ファンド）グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関る会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

組入投資信託の運用レポート

【特別勘定名】
世界バランスファンド25 MT

【特別勘定が投資する投資信託】
三菱UFJ 世界バランスファンド 25VA（適格機関投資家限定）

【運用会社】
三菱UFJアセットマネジメント株式会社

主要投資対象
国内株式、国内債券、外国株式、外国債券。主に三菱UFJ 国内株式アクティブマザーファンド、三菱UFJ 国内債券アクティブマザーファンド、三菱UFJ 海外株式アクティブマザーファンド、三菱UFJ 海外債券アクティブマザーファンド受益証券を通じて投資が行われます。

運　用　方　針
主に日本を含む世界各国の株式と債券にバランスよく投資し、中長期的に安定的な成長を目指します。資産配分はあらかじめ定められた標準組入比率にしたがいます。

三菱UFJ 国内株式アクティブマザーファンド

■基準価額の推移

・基準価額、ベンチマーク（東証株価指数（TOPIX）（配当込み））はベビーファンドの設定日を10,000として指数化しています。

■騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	−3.4%	−4.1%	−1.4%	10.2%	50.9%	411.3%
ベンチマーク	−2.9%	−2.0%	2.6%	19.0%	48.9%	316.5%

・設定来（各期間の騰落率）はベビーファンドの運用期間に応じたものです。

■組入上位10業種

業種	比率	ベンチマーク構成比
1 電気機器	19.5%	17.5%
2 サービス業	12.3%	4.8%
3 輸送用機器	9.2%	7.5%
4 情報・通信業	6.8%	7.5%
5 銀行業	6.5%	7.6%
6 機械	6.2%	5.3%
7 化学	5.8%	5.7%
8 保険業	5.3%	3.1%
9 卸売業	4.9%	7.3%
10 建設業	2.8%	2.1%

■運用担当者コメント（マザーファンドベース）

今月の国内株式市況（TOPIX）は前月末を下回る水準で取引を終えました。
月初に米国で景気後退の可能性を示唆する経済指標が発表されたことに加え、外国為替市場で日米金利差の縮小を見込んだ円高米ドル安が急速に進行したことなどから大きく下落しました。その後は米国で景気の堅調さを示す経済指標が出てきたことや、2024年4-6月期国内企業決算が概ね堅調であったことなどを背景に過度な懸念が払しょくされたことから回復基調をたどりました。
今月のファンド騰落率は、ベンチマークを下回る結果となりました。業種配分効果については、サービス業、証券、商品先物取引業などがプラスに寄与、小売業、医薬品などがマイナスに影響しました。銘柄選択効果については、守谷輸送機工業、楽天グループなどがプラスに寄与、太陽誘電、日本シイエムケイなどがマイナスに影響しました。今月の売買では、業績期待が高くかつ割安感のある銘柄へスイッチする方針の下、アドバンテスト、サンウェルズなどの組入比率を引き上げました。
日銀が政策金利の引き上げを実施した一方で、米国においては金融緩和が見込まれるなど、金融政策変更による金融環境の変化が見込まれることなどから、当面の国内株式市況については値動きの大きい展開になると考えています。
このような認識を踏まえ、当ファンドの運用コンセプトとしているボトムアップによる銘柄選択効果を更に追求すべく、リサーチに基づく企業分析に注力し、成長性とバリュエーションを考慮した銘柄選択を行っていく方針です。（運用主担当者：長尾 衛）

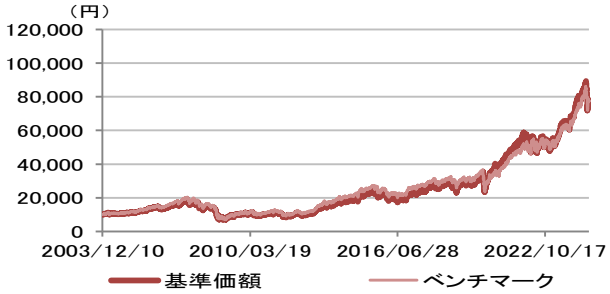
■組入上位10銘柄

組入銘柄数: 56銘柄

銘柄	業種	比率	ベンチマーク構成比
1 三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	4.2%	2.4%
2 日立製作所	電気機器	4.1%	2.3%
3 川崎重工業	輸送用機器	3.2%	0.1%
4 トヨタ自動車	輸送用機器	3.2%	3.8%
5 ソフトバンクグループ	情報・通信業	3.0%	1.1%
6 三菱商事	卸売業	2.7%	1.6%
7 第一三共	医薬品	2.6%	1.4%
8 大阪ソーダ	化学	2.5%	0.0%
9 楽天グループ	サービス業	2.4%	0.2%
10 オリエンタルランド	サービス業	2.4%	0.6%

三菱UFJ 海外株式アクティブマザーファンド

■基準価額の推移



・基準価額、ベンチマーク（MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円換算ベース））はベビーファンドの設定日を10,000として指数化しています。

■騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	−3.7%	−6.3%	−0.8%	19.4%	44.3%	678.7%
ベンチマーク	−1.7%	−1.6%	6.3%	22.2%	60.2%	679.7%

・設定来（各期間の騰落率）はベビーファンドの運用期間に応じたものです。

■組入上位10ヵ国・地域

国・地域	比率
1 アメリカ	75.3%
2 イギリス	5.3%
3 カナダ	3.0%
4 フランス	2.5%
5 オランダ	2.1%
6 ドイツ	1.6%
7 オーストラリア	1.3%
8 スペイン	1.0%
9 香港	0.9%
10 デンマーク	0.8%

■組入上位10業種

業種	比率
1 金融サービス	10.1%
2 ソフトウェア・サービス	10.1%
3 半導体・半導体製造装置	8.5%
4 医薬品・バイオテクノ・ライフ	7.6%
5 メディア・娯楽	6.7%
6 一般消費財・サービス流通・小売り	6.3%
7 資本財	6.2%
8 自動車・自動車部品	3.7%
9 消費者サービス	3.5%
10 素材	3.3%

■運用担当者コメント（マザーファンドベース）

海外株式市況は上昇しました。
月初は、雇用統計などの米経済指標が市場予想以上に悪化したことにより、米景気減速が懸念されたことを受け、株価は下落しました。その後は、米消費者物価指数（CPI）の上昇率が鈍化したことや堅調な米経済指標を背景に米景気の軟着陸期待が高まったことから、株価は上昇し、月初からの株価は上昇しました。
外国為替市況については、円に対して米ドルは下落（円高）しました。
9月は米国をはじめとするグローバルの景気見通しやインフレに加えて、米連邦公開市場委員会（FOMC）における金融政策動向が注目されます。
このような環境のもと、投資方針は、引き続き個別銘柄選択では、株価に割安感があり、独自の成長テーマを持った銘柄に注目しています。投資国配分については、北米、欧州、アジア・オセアニアともにニュートラルとします。（運用主担当者：柳原　武士）

■組入上位10銘柄

組入銘柄数: 75銘柄

銘柄	国・地域	業種	比率
1 MICROSOFT CORP	アメリカ	ソフトウェア・サービス	5.2%
2 META PLATFORMS INC-CLASS A	アメリカ	メディア・娯楽	3.7%
3 NVIDIA CORP	アメリカ	半導体・半導体製造装置	3.5%
4 TESLA INC	アメリカ	自動車・自動車部品	3.3%
5 CHEVRON CORP	アメリカ	エネルギー	3.1%
6 SOFI TECHNOLOGIES INC	アメリカ	金融サービス	3.0%
7 AMAZON.COM INC	アメリカ	一般消費財・サービス流通・小売り	2.9%
8 SPROUTS FARMERS MARKET INC	アメリカ	生活必需品流通・小売り	2.8%
9 APPLE INC	アメリカ	テクノロジ・ハードウェア・機器	2.7%
10 HEICO CORP-CLASS A	アメリカ	資本財	2.4%

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入しています。・原則として、比率は純資産総額に対する割合です。・市況の変動等により方針通りの運用が行われない場合があります。

・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定（ファンド）グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関る会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

組入投資信託の運用レポート

【特別勘定名】
世界バランスファンド25 MT

【特別勘定が投資する投資信託】
三菱UFJ 世界バランスファンド 25VA（適格機関投資家限定）

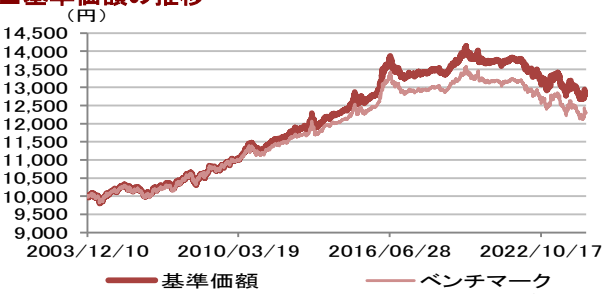
【運用会社】
三菱UFJアセットマネジメント株式会社

主要投資対象
国内株式、国内債券、外国株式、外国債券。主に三菱UFJ 国内株式アクティブマザーファンド、三菱UFJ 国内債券アクティブマザーファンド、三菱UFJ 海外株式アクティブマザーファンド、三菱UFJ 海外債券アクティブマザーファンド受益証券を通じて投資が行われます。

運　用　方　針
主に日本を含む世界各国の株式と債券にバランスよく投資し、中長期的に安定的な成長を目指します。資産配分はあらかじめ定められた標準組入比率にしたがいます。

三菱UFJ 国内債券アクティブマザーファンド

■基準価額の推移



・基準価額、ベンチマーク（NOMURA－BPI＜総合＞（国内債券投資収益指数））はベビーファンドの設定日を10,000として指数化しています。

■騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	0.8%	1.0%	−1.7%	−1.9%	−7.2%	28.1%
ベンチマーク	1.2%	1.3%	−1.5%	−1.7%	−7.0%	23.0%

・設定来（各期間の騰落率）はベビーファンドの運用期間に応じたものです。

■ポートフォリオ特性

	当月末
最終利回り	1.1%
直接利回り	1.0%
デュレーション	8.6

■債券格付分布

格付種類	比率
AAA格	59.0%
AA格	19.7%
A格	16.8%
BBB格	0.7%
BB格以下	0.0%
無格付	0.0%

・格付は、R&I、JCR、S&P、Moody'sのうち最も高い格付を表示しています。

■運用担当者コメント（マザーファンドベース）

8月の国内金利は、米国の利下げ観測の高まりによる米国金利の低下などを背景に、中長期ゾーンを中心に低下となりました。月末の10年国債利回りは0.89%近辺となっています。事業債の国債とのスプレッド（利回り格差）は概ね横ばいとなりました。
実際の運用では、ファンド全体のデュレーションについて、月初旬はベンチマーク対比短め、その後は中立からやや短めを中心に調整しました。
また、一般債については事業債および円建外債を中心にベンチマーク対比多めの保有を維持しました。
国内景気は一部に弱めの動きもみられますが緩やかに回復しています。海外経済は緩やかに成長しており、輸出や生産は横ばい圏内の動きとなっています。個人消費は、物価上昇の影響を受けつつも底堅く推移しています。先行きにつきましては、海外経済の緩やかな成長や緩和的な金融環境などを背景に、緩やかな回復傾向が続くものと思われます。国内債券相場は、日銀金融政策や海外金利動向などを睨みながら神経質な展開を予想します。国内事業債のスプレッドについてはもみ合いでの推移になるものと思われます。以上の見通しの下、デュレーションは当面ベンチマーク対比中立を基本にリスク度合いを調整し、国債以外の一般債は事業債および円建外債を中心にベンチマーク対比多めの保有を維持する方針です。（運用主担当者：小口　正之）

■組入上位10銘柄

組入銘柄数: 138銘柄

	銘柄	種別	クーポン	償還日	比率
1	第375回利付国債（10年）	国債	1.1000%	2034/06/20	9.6%
2	第364回利付国債（10年）	国債	0.1000%	2031/09/20	2.9%
3	第363回利付国債（10年）	国債	0.1000%	2031/06/20	2.6%
4	第183回利付国債（20年）	国債	1.4000%	2042/12/20	2.3%
5	第11回ロイズ・バンキング・グループ期限前償還条項付	円建外債	1.3520%	2029/05/25	2.3%
6	第77回利付国債（30年）	国債	1.6000%	2052/12/20	2.1%
7	第189回利付国債（20年）	国債	1.9000%	2044/06/20	2.0%
8	第374回利付国債（10年）	国債	0.8000%	2034/03/20	1.9%
9	第34回SBIホールディングス	事業債	0.9500%	2026/06/05	1.9%
10	第160回利付国債（20年）	国債	0.7000%	2037/03/20	1.7%

三菱UFJ 海外債券アクティブマザーファンド

■基準価額の推移

・基準価額、ベンチマーク(FTSE世界国債インデックス（除く日本・円ベース）)はベビーファンドの設定日を10,000として指数化しています。

■騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	−2.5%	−3.1%	0.3%	4.8%	14.4%	153.6%
ベンチマーク	−3.5%	−2.5%	1.0%	6.6%	14.5%	133.6%

・設定来（各期間の騰落率）はベビーファンドの運用期間に応じたものです。

■ポートフォリオ特性

	当月末
最終利回り	3.6%
直接利回り	3.0%
デュレーション	7.1

■債券格付分布

格付種類	比率
AAA格	56.0%
AA格	14.1%
A格	17.6%
BBB格	10.1%
BB格以下	0.0%
無格付	0.0%

・格付は、S&P、Moody'sのうち最も高い格付を表示しています。

■組入上位10ヵ国・地域

	国・地域	比率
1	アメリカ	41.2%
2	イタリア	9.0%
3	イギリス	7.2%
4	スペイン	6.9%
5	中国	5.3%
6	ポーランド	4.1%
7	フランス	3.9%
8	国際機関	3.9%
9	ノルウェー	2.6%
10	スウェーデン	2.6%

■運用担当者コメント（マザーファンドベース）

【市況動向】
当月の米独長期金利は低下しました。
米国長期金利は雇用統計が市場予想を下回り景気後退懸念が高まったことなどから低下して始まりました。その後は小売売上高などの経済指標が堅調な内容だったことなどから上昇する局面もあったものの、月間では米国長期金利は低下しました。それに連動する形で欧州長期金利は低下しました。為替市場では、米ドルとユーロは対円で下落しました。上記米国景気後退懸念や欧州中央銀行（ECB）の利下げ観測の高まりを背景に、米ドルとユーロは対円で下落しました。投資行動としては、債券デュレーションは米国、欧州ともにベンチマーク比長めで維持しました。欧州圏の国別投資方針は、ドイツ、フランスをベンチマーク比少なめ、イタリア、スペインを同多めで維持し、ベルギーは8月下旬まで同少なめとし、その後中立としました。カントリーアロケーション（通貨配分）は、英ポンド、ノルウェークローネ、ポーランドズロチをベンチマーク比多め、ユーロ、中国元を同少なめで維持し、豪ドル、メキシコペソ、スウェーデンクローナを同多めから中立でコントロールしました。
【今後の運用方針】
債券デュレーションは現行の方針を基本に機動的に調整します。通貨配分では、必要に応じて現行比率の調整を行います。（運用主担当者：松津　大輔）

■組入上位10銘柄

組入銘柄数: 87銘柄

	銘柄	種別	クーポン	償還日	国・地域	比率
1	2.875 T-NOTE 280815	国債	2.8750%	2028/08/15	アメリカ	6.0%
2	3.625 T-NOTE 300331	国債	3.6250%	2030/03/31	アメリカ	5.6%
3	1.875 T-NOTE 290228	国債	1.8750%	2029/02/28	アメリカ	5.5%
4	4.4 ITALY GOVT 330501	国債	4.4000%	2033/05/01	イタリア	5.2%
5	4.75 T-BOND 531115	国債	4.7500%	2053/11/15	アメリカ	2.9%
6	3.5 T-NOTE 330215	国債	3.5000%	2033/02/15	アメリカ	2.9%
7	1.25 T-NOTE 261130	国債	1.2500%	2026/11/30	アメリカ	2.8%
8	0.875 IBRD 300514	国際機関債	0.8750%	2030/05/14	国際機関	2.7%
9	4.375 T-NOTE 340515	国債	4.3750%	2034/05/15	アメリカ	2.6%
10	4.125 T-NOTE 310731	国債	4.1250%	2031/07/31	アメリカ	2.5%

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入しています。・原則として、比率は純資産総額に対する割合です。・利回り、デュレーションは組入銘柄の純資産総額に対する比率で加重平均しています。・デュレーション調整のため、債券先物を組み入れることがあります。この場合、デュレーションについては債券先物を含めて計算しています。・利回りはファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。・市況の変動等により方針通りの運用が行われない場合があります。

・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定（ファンド）グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関る会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。
したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

組入投資信託の運用レポート

【特別勘定名】
世界バランスファンド50 MT

【特別勘定が投資する投資信託】
三菱UFJ 世界バランスファンド 50VA（適格機関投資家限定）

【運用会社】
三菱UFJアセットマネジメント株式会社

主要投資対象

国内株式、国内債券、外国株式、外国債券。主に三菱UFJ 国内株式アクティブマザーファンド、三菱UFJ 国内債券アクティブマザーファンド、三菱UFJ 海外株式アクティブマザーファンド、三菱UFJ 海外債券アクティブマザーファンド受益証券を通じて投資が行われます。

運　用　方　針

主に日本を含む世界各国の株式と債券にバランスよく投資し、中長期的に安定的な成長を目指します。資産配分はあらかじめ定められた標準組入比率にしたがいます。

■商品概要

形態	追加型株式投資信託/バランス型
主要投資対象	国内株式、海外株式、国内債券、海外債券
運用方針	・国内株式・海外株式・国内債券・海外債券への分散投資により、信託財産の長期的な成長を目指します。 ・国内株式25%、海外株式25%、国内債券10%、海外債券40%を標準組入比率とし、これを維持します。各資産の時価変動による標準組入比率からの乖離については、1ヵ月に1回程度リバランスを行い、これを修正します。なお、リバランスに必要な資金を確保するため、保有する受益証券の一部を解約し、短期金融資産による運用とする場合があります。 ・運用は、ファミリーファンド方式で行います。 ・実質組入外貨建資産の為替変動リスクに対するヘッジは原則として行いません。 ・市況動向等を勘案して、標準組入比率の見直しを行う場合があります。 ・市況動向、資金動向等によっては、上記のような運用が行えない場合があります。
設定日	2003年12月10日
信託期間	無期限
決算日	毎年4月15日（休業日の場合、翌営業日）

■基準価額および純資産総額

基準価額（1万口当たり）	33,423円
前月末比	−938円
純資産総額	10.43億円

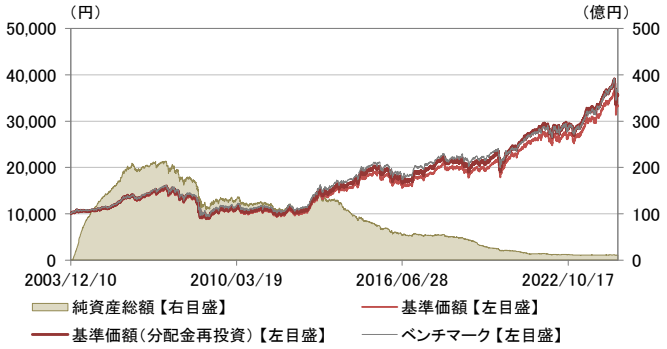
■分配金実績（1万口当たり、税引前）

決算期	決算日	分配金
第21期	2024/04/15	0円
第20期	2023/04/17	0円
第19期	2022/04/15	0円
第18期	2021/04/15	0円
第17期	2020/04/15	0円
第16期	2019/04/15	0円
設定来累計		900円

■資産構成

	基本資産配分	比率
国内株式	25.0%	24.3%
海外株式	25.0%	23.7%
国内債券	10.0%	9.6%
海外債券	40.0%	38.8%
コールローン他	0.0%	3.6%

■基準価額および純資産総額の推移



・基準価額、基準価額（分配金再投資）は、運用管理費用（信託報酬）控除後の値です。
・基準価額（分配金再投資）は、分配金（税引前）を再投資したものとして計算しています。
・ベンチマークは、設定日を10,000として指数化しています。
・2023年12月29日に、当ファンドの株式のベンチマークを「配当除く指数」から「配当込み指数」へ変更しました。

■騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	−2.7%	−3.8%	−0.8%	8.5%	26.2%	257.1%
ベンチマーク	−2.5%	−1.7%	2.5%	12.7%	31.1%	265.1%

・実際のファンドでは、課税条件によってお客さまごとの騰落率は異なります。
　また、換金時の費用・税金等は考慮していません。
・設定来のファンドの騰落率は、10,000を起点として計算しています。
・分配金実績がある場合は、分配金（税引前）を再投資したものとして計算しています。

■運用担当者コメント

8月の株式市況は米国、英国で上昇し、国内で下落しました。金利は国内、米国、ドイツで低下しました。また、為替は対円でドル、ユーロがともに下落しました。
世界経済は、2022年以降の米欧中銀主導による金融引き締めの効果が残存するものの、既に利下げを開始した欧州中央銀行（ECB）に続いて米連邦準備制度理事会（FRB）もまもなく慎重なペースでの利下げを開始すると見込まれ、サービス消費主導で底堅い成長速度を維持するとみています。米国では家計の利払い費増加等が個人消費の伸びを抑える一方、安定した雇用環境や潤沢な家計純資産等が景気を下支えるとみています。日本では内需低迷で成長率が伸び悩むものの、春闘での高い賃上げ率を受けた実質賃金増加等を背景に景気は回復に向かうとみています。

現在ファンドでは運用方針に従い、ほぼ標準組入比率（国内株式25%、海外株式25%、国内債券10%、海外債券40%）通りの組み入れとしています。今後についても、標準組入比率を維持する運用を行います。（運用責任者：加納　良樹）

■組入通貨

通貨	比率
1 米ドル	37.3%
2 日本円	36.6%
3 ユーロ	12.0%
4 英ポンド	4.3%
5 中国元	2.1%
その他	7.8%

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入しています。・原則として、比率は純資産総額に対する割合です。・コールローン他は未収・未払項目が含まれるため、マイナスとなる場合があります。・REITの組み入れがある場合、REITは株式に含めて表示しています。・組入通貨比率は、為替予約等を含めた実質的な比率です。・市況の変動等により方針通りの運用が行われない場合があります。

・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定（ファンド）グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関る会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。
　したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

組入投資信託の運用レポート

【特別勘定名】
世界バランスファンド50 MT

【特別勘定が投資する投資信託】
三菱UFJ 世界バランスファンド 50VA（適格機関投資家限定）

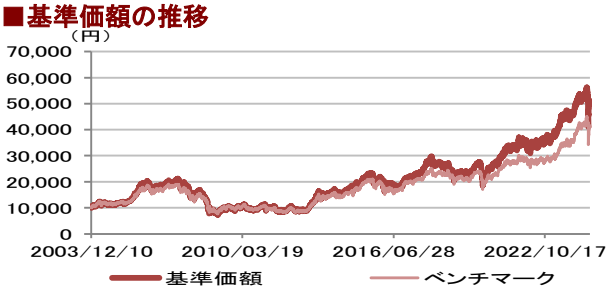
【運用会社】
三菱UFJアセットマネジメント株式会社

主要投資対象
国内株式、国内債券、外国株式、外国債券。主に三菱UFJ 国内株式アクティブマザーファンド、三菱UFJ 国内債券アクティブマザーファンド、三菱UFJ 海外株式アクティブマザーファンド、三菱UFJ 海外債券アクティブマザーファンド受益証券を通じて投資が行われます。

運　用　方　針
主に日本を含む世界各国の株式と債券にバランスよく投資し、中長期的に安定的な成長を目指します。資産配分はあらかじめ定められた標準組入比率にしたがいます。

三菱UFJ 国内株式アクティブマザーファンド

■基準価額の推移



・基準価額、ベンチマーク（東証株価指数（TOPIX）（配当込み））はベビーファンドの設定日を10,000として指数化しています。

■運用担当者コメント（マザーファンドベース）

今月の国内株式市況（TOPIX）は前月末を下回る水準で取引を終えました。
月初に米国で景気後退の可能性を示唆する経済指標が発表されたことに加え、外国為替市場で日米金利差の縮小を見込んだ円高米ドル安が急速に進行したことなどから大きく下落しました。その後は米国で景気の堅調さを示す経済指標が出てきたことや、2024年4-6月期国内企業決算が概ね堅調であったことなどを背景に過度な懸念が払しょくされたことから回復基調をたどりました。
今月のファンド騰落率は、ベンチマークを下回る結果となりました。業種配分効果については、サービス業、証券、商品先物取引業などがプラスに寄与、小売業、医薬品などがマイナスに影響しました。銘柄選択効果については、守谷輸送機工業、楽天グループなどがプラスに寄与、太陽誘電、日本シイエムケイなどがマイナスに影響しました。今月の売買では、業績期待が高くかつ割安感のある銘柄へスイッチする方針の下、アドバンテスト、サンウェルズなどの組入比率を引き上げました。
日銀が政策金利の引き上げを実施した一方で、米国においては金融緩和が見込まれるなど、金融政策変更による金融環境の変化が見込まれることなどから、当面の国内株式市況については値動きの大きい展開になると考えています。
このような認識を踏まえ、当ファンドの運用コンセプトとしているボトムアップによる銘柄選択効果を更に追求すべく、リサーチに基づく企業分析に注力し、成長性とバリュエーションを考慮した銘柄選択を行っていく方針です。（運用主担当者：長尾 衛）

■騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	−3.4%	−4.1%	−1.4%	10.2%	50.9%	411.3%
ベンチマーク	−2.9%	−2.0%	2.6%	19.0%	48.9%	316.5%

・設定来（各期間の騰落率）はベビーファンドの運用期間に応じたものです。

■組入上位10業種

	業種	比率	ベンチマーク構成比
1	電気機器	19.5%	17.5%
2	サービス業	12.3%	4.8%
3	輸送用機器	9.2%	7.5%
4	情報・通信業	6.8%	7.5%
5	銀行業	6.5%	7.6%
6	機械	6.2%	5.3%
7	化学	5.8%	5.7%
8	保険業	5.3%	3.1%
9	卸売業	4.9%	7.3%
10	建設業	2.8%	2.1%

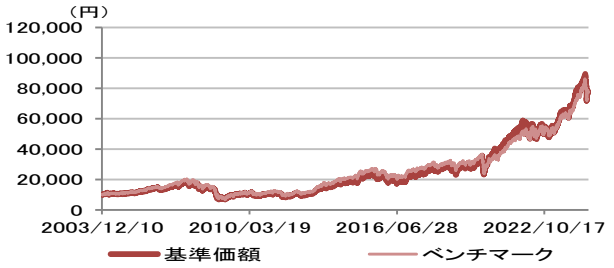
■組入上位10銘柄

組入銘柄数: 56銘柄

	銘柄	業種	比率	ベンチマーク構成比
1	三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	4.2%	2.4%
2	日立製作所	電気機器	4.1%	2.3%
3	川崎重工業	輸送用機器	3.2%	0.1%
4	トヨタ自動車	輸送用機器	3.2%	3.8%
5	ソフトバンクグループ	情報・通信業	3.0%	1.1%
6	三菱商事	卸売業	2.7%	1.6%
7	第一三共	医薬品	2.6%	1.4%
8	大阪ソーダ	化学	2.5%	0.0%
9	楽天グループ	サービス業	2.4%	0.2%
10	オリエンタルランド	サービス業	2.4%	0.6%

三菱UFJ 海外株式アクティブマザーファンド

■基準価額の推移



・基準価額、ベンチマーク（MSCIコクサイ・インデックス（配当込み、円換算ベース））はベビーファンドの設定日を10,000として指数化しています。

■運用担当者コメント（マザーファンドベース）

海外株式市況は上昇しました。
月初は、雇用統計などの米経済指標が市場予想以上に悪化したことにより、米景気減速が懸念されたことを受け、株価は下落しました。その後は、米消費者物価指数（CPI）の上昇率が鈍化したことや堅調な米経済指標を背景に米景気の軟着陸期待が高まったことから、株価は上昇し、月初からの株価は上昇しました。
外国為替市況については、円に対して米ドルは下落（円高）しました。
9月は米国をはじめとするグローバルの景気見通しやインフレに加えて、米連邦公開市場委員会（FOMC）における金融政策動向が注目されます。
このような環境のもと、投資方針は、引き続き個別銘柄選択では、株価に割安感があり、独自の成長テーマを持った銘柄に注目しています。投資国配分については、北米、欧州、アジア・オセアニアともにニュートラルとします。（運用主担当者：柳原　武士）

■騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	−3.7%	−6.3%	−0.8%	19.4%	44.3%	678.7%
ベンチマーク	−1.7%	−1.6%	6.3%	22.2%	60.2%	679.7%

・設定来（各期間の騰落率）はベビーファンドの運用期間に応じたものです。

■組入上位10ヵ国・地域

	国・地域	比率
1	アメリカ	75.3%
2	イギリス	5.3%
3	カナダ	3.0%
4	フランス	2.5%
5	オランダ	2.1%
6	ドイツ	1.6%
7	オーストラリア	1.3%
8	スペイン	1.0%
9	香港	0.9%
10	デンマーク	0.8%

■組入上位10業種

	業種	比率
1	金融サービス	10.1%
2	ソフトウェア・サービス	10.1%
3	半導体・半導体製造装置	8.5%
4	医薬品・バイオテクノ・ライフ	7.6%
5	メディア・娯楽	6.7%
6	一般消費財・サービス流通・小売り	6.3%
7	資本財	6.2%
8	自動車・自動車部品	3.7%
9	消費者サービス	3.5%
10	素材	3.3%

■組入上位10銘柄

組入銘柄数: 75銘柄

	銘柄	国・地域	業種	比率
1	MICROSOFT CORP	アメリカ	ソフトウェア・サービス	5.2%
2	META PLATFORMS INC-CLASS A	アメリカ	メディア・娯楽	3.7%
3	NVIDIA CORP	アメリカ	半導体・半導体製造装置	3.5%
4	TESLA INC	アメリカ	自動車・自動車部品	3.3%
5	CHEVRON CORP	アメリカ	エネルギー	3.1%
6	SOFI TECHNOLOGIES INC	アメリカ	金融サービス	3.0%
7	AMAZON.COM INC	アメリカ	一般消費財・サービス流通・小売り	2.9%
8	SPROUTS FARMERS MARKET INC	アメリカ	生活必需品流通・小売り	2.8%
9	APPLE INC	アメリカ	テクノロジ・ハードウェア・機器	2.7%
10	HEICO CORP-CLASS A	アメリカ	資本財	2.4%

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入しています。・原則として、比率は純資産総額に対する割合です。・市況の変動等により方針通りの運用が行われない場合があります。

・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定（ファンド）グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関る会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

組入投資信託の運用レポート

【特別勘定名】
世界バランスファンド50 MT

【特別勘定が投資する投資信託】
三菱UFJ 世界バランスファンド 50VA（適格機関投資家限定）

【運用会社】
三菱UFJアセットマネジメント株式会社

主要投資対象

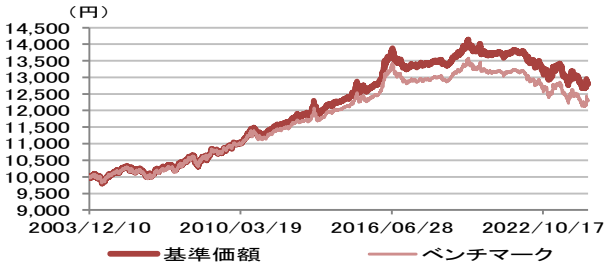
国内株式、国内債券、外国株式、外国債券。主に三菱UFJ 国内株式アクティブマザーファンド、三菱UFJ 国内債券アクティブマザーファンド、三菱UFJ 海外株式アクティブマザーファンド、三菱UFJ 海外債券アクティブマザーファンド受益証券を通じて投資が行われます。

運　用　方　針

主に日本を含む世界各国の株式と債券にバランスよく投資し、中長期的に安定的な成長を目指します。資産配分はあらかじめ定められた標準組入比率にしたがいます。

三菱UFJ 国内債券アクティブマザーファンド

■基準価額の推移



・基準価額、ベンチマーク（NOMURA－BPI＜総合＞（国内債券投資収益指数））はベビーファンドの設定日を10,000として指数化しています。

■運用担当者コメント（マザーファンドベース）

8月の国内金利は、米国の利下げ観測の高まりによる米国金利の低下などを背景に、中長期ゾーンを中心に低下となりました。月末の10年国債利回りは0.89%近辺となっています。事業債の国債とのスプレッド（利回り格差）は概ね横ばいとなりました。
実際の運用では、ファンド全体のデュレーションについて、月初旬はベンチマーク対比短め、その後は中立からやや短めを中心に調整しました。また、一般債については事業債および円建外債を中心にベンチマーク対比多めの保有を維持しました。
国内景気は一部に弱めの動きもみられますが緩やかに回復しています。海外経済は緩やかに成長しており、輸出や生産は横ばい圏内の動きとなっています。個人消費は、物価上昇の影響を受けつつも底堅く推移しています。先行きにつきましては、海外経済の緩やかな成長や緩和的な金融環境などを背景に、緩やかな回復傾向が続くものと思われます。国内債券相場は、日銀金融政策や海外金利動向などを睨みながら神経質な展開を予想します。国内事業債のスプレッドについてはもみ合いでの推移になるものと思われます。以上の見通しの下、デュレーションは当面ベンチマーク対比中立を基本にリスク度合いを調整し、国債以外の一般債は事業債および円建外債を中心にベンチマーク対比多めの保有を維持する方針です。（運用主担当者：小口　正之）

■騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	0.8%	1.0%	−1.7%	−1.9%	−7.2%	28.1%
ベンチマーク	1.2%	1.3%	−1.5%	−1.7%	−7.0%	23.0%

・設定来（各期間の騰落率）はベビーファンドの運用期間に応じたものです。

■ポートフォリオ特性

	当月末
最終利回り	1.1%
直接利回り	1.0%
デュレーション	8.6

■債券格付分布

格付種類	比率
AAA格	59.0%
AA格	19.7%
A格	16.8%
BBB格	0.7%
BB格以下	0.0%
無格付	0.0%

・格付は、R&I、JCR、S&P、Moody'sのうち最も高い格付を表示しています。

■組入上位10銘柄

組入銘柄数: 138銘柄

	銘柄	種別	クーポン	償還日	比率
1	第375回利付国債（10年）	国債	1.1000%	2034/06/20	9.6%
2	第364回利付国債（10年）	国債	0.1000%	2031/09/20	2.9%
3	第363回利付国債（10年）	国債	0.1000%	2031/06/20	2.6%
4	第183回利付国債（20年）	国債	1.4000%	2042/12/20	2.3%
5	第11回ロイズ・バンキング・グループ期限前償還条項付	円建外債	1.3520%	2029/05/25	2.3%
6	第77回利付国債（30年）	国債	1.6000%	2052/12/20	2.1%
7	第189回利付国債（20年）	国債	1.9000%	2044/06/20	2.0%
8	第374回利付国債（10年）	国債	0.8000%	2034/03/20	1.9%
9	第34回SBIホールディングス	事業債	0.9500%	2026/06/05	1.9%
10	第160回利付国債（20年）	国債	0.7000%	2037/03/20	1.7%

三菱UFJ 海外債券アクティブマザーファンド

■基準価額の推移

・基準価額、ベンチマーク(FTSE世界国債インデックス（除く日本・円ベース））はベビーファンドの設定日を10,000として指数化しています。

■運用担当者コメント（マザーファンドベース）

【市況動向】
当月の米独長期金利は低下しました。
米国長期金利は雇用統計が市場予想を下回り景気後退懸念が高まったことなどから低下して始まりました。その後は小売売上高などの経済指標が堅調な内容だったことなどから上昇する局面もあったものの、月間では米国長期金利は低下しました。それに連動する形で欧州長期金利は低下しました。為替市場では、米ドルとユーロは対円で下落しました。上記米国景気後退懸念や欧州中央銀行（ECB）の利下げ観測の高まりを背景に、米ドルとユーロは対円で下落しました。投資行動としては、債券デュレーションは米国、欧州ともにベンチマーク比長めで維持しました。欧州圏の国別投資方針は、ドイツ、フランスをベンチマーク比少なめ、イタリア、スペインを同多めで維持し、ベルギーは8月下旬まで同少なめとし、その後中立としました。カントリーアロケーション（通貨配分）は、英ポンド、ノルウェークローネ、ポーランドズロチをベンチマーク比多め、ユーロ、中国元を同少なめで維持し、豪ドル、メキシコペソ、スウェーデンクローナを同多めから中立でコントロールしました。
【今後の運用方針】
債券デュレーションは現行の方針を基本に機動的に調整します。通貨配分では、必要に応じて現行比率の調整を行います。（運用主担当者：船津　大輔）

■騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	−2.5%	−3.1%	0.3%	4.8%	14.4%	153.6%
ベンチマーク	−3.5%	−2.5%	1.0%	6.6%	14.5%	133.6%

・設定来（各期間の騰落率）はベビーファンドの運用期間に応じたものです。

■ポートフォリオ特性

	当月末
最終利回り	3.6%
直接利回り	3.0%
デュレーション	7.1

■債券格付分布

格付種類	比率
AAA格	56.0%
AA格	14.1%
A格	17.6%
BBB格	10.1%
BB格以下	0.0%
無格付	0.0%

・格付は、S&P、Moody'sのうち最も高い格付を表示しています。

■組入上位10ヵ国・地域

	国・地域	比率
1	アメリカ	41.2%
2	イタリア	9.0%
3	イギリス	7.2%
4	スペイン	6.9%
5	中国	5.3%
6	ポーランド	4.1%
7	フランス	3.9%
8	国際機関	3.9%
9	ノルウェー	2.6%
10	スウェーデン	2.6%

■組入上位10銘柄

組入銘柄数: 87銘柄

	銘柄	種別	クーポン	償還日	国・地域	比率
1	2.875 T-NOTE 280815	国債	2.8750%	2028/08/15	アメリカ	6.0%
2	3.625 T-NOTE 300331	国債	3.6250%	2030/03/31	アメリカ	5.6%
3	1.875 T-NOTE 290228	国債	1.8750%	2029/02/28	アメリカ	5.5%
4	4.4 ITALY GOVT 330501	国債	4.4000%	2033/05/01	イタリア	5.2%
5	4.75 T-BOND 531115	国債	4.7500%	2053/11/15	アメリカ	2.9%
6	3.5 T-NOTE 330215	国債	3.5000%	2033/02/15	アメリカ	2.9%
7	1.25 T-NOTE 261130	国債	1.2500%	2026/11/30	アメリカ	2.8%
8	0.875 IBRD 300514	国際機関債	0.8750%	2030/05/14	国際機関	2.7%
9	4.375 T-NOTE 340515	国債	4.3750%	2034/05/15	アメリカ	2.6%
10	4.125 T-NOTE 310731	国債	4.1250%	2031/07/31	アメリカ	2.5%

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入しています。・原則として、比率は純資産総額に対する割合です。・利回り、デュレーションは組入銘柄の純資産総額に対する比率で加重平均しています。・デュレーション調整のため、債券先物を組み入れることがあります。この場合、デュレーションについては債券先物を含めて計算しています。・利回りはファンドの将来の運用成果を保証するものではありません。・市況の変動等により方針通りの運用が行われない場合があります。

・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定（ファンド）グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関る会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。
したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。

組入投資信託の運用レポート

【特別勘定名】
マネーファンド MB

【特別勘定が投資する投資信託】
三菱UFJ　MRF（マネー・リザーブ・ファンド）

【運用会社】
三菱UFJアセットマネジメント株式会社

主要投資対象

国内外の公社債、CP等の短期金融商品。

運　用　方　針

内外の公社債およびコマーシャル・ペーパーを中心に投資し、安定した収益の確保を目指します。投資対象とする有価証券は信用度が高く、残存期間が短いものとします。
外貨建資産への投資については、円貨で約定・決済するもの（為替リスクの生じないもの）に限ります。

2024年8月30日現在

■資産構成

	評価金額（円）	比率
公社債	49,988,799,300	7.9%
（うち固定債）	(49,988,799,300)	7.9%
（うち変動利付債）	(0)	0.0%
短期金融資産	586,391,918,607	92.1%
（うちコールローン）	(312,619,000,000)	49.1%
（うちCD）	(0)	0.0%
（うちCP）	(0)	0.0%
（うち現先・レポ）	(273,772,918,607)	43.0%
（うち割引手形）	(0)	0.0%
その他資産	3,684,737	0.0%
純資産総額	636,384,402,644	100.0%

・固定債：変動利付債以外の債券。

■基準価額および純資産総額

基準価額	10,000円
純資産総額	6,363.84億円

■ポートフォリオ特性

平均残存日数	8.7日

■国内（邦貨建）公社債（新株予約権付社債（転換社債）を除く）明細表

	額面金額（円）	評価金額（円）	残存期間別比率			
			1年未満	1年以上	2年以上	5年以上
国債	50,000,000,000	49,988,799,300	7.9%	0.0%	0.0%	0.0%
地方債	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
特殊債	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
金融債	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
普通社債	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
合計	50,000,000,000	49,988,799,300	7.9%	0.0%	0.0%	0.0%

■債券の格付分布

格付種類	比率
AAA格	0.0%
AA格	0.0%
A格	7.9%
BBB格	0.0%
BB格以下	0.0%
無格付	0.0%

■短期金融商品(CP・CD)の格付分布

格付種類	比率
A－1格	0.0%
A－2格	0.0%
A－3格	0.0%

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入しています。・原則として、比率は純資産総額に対する割合です。・比率は経過利子等を債券時価に含まず算出しております。・平均残存日数は組入銘柄の純資産総額に対する比率で加重平均しています。・変動利付債の残存日数は、次回利払日までとして計算しています。・特殊債とは独立行政法人、公庫等の政府関係機関等、いわゆる特殊法人や特殊団体が特別の法律に基づいて発行する債券の総称です。・格付は、R&I、JCR、S&P、Moody'sのうち最も低い格付を表示しています。

・当資料は、オリックス生命の、変額個人年金保険の特別勘定（ファンド）グループの過去の運用状況等を開示するもので、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、特別勘定が投資する投資信託のレポートは、投資信託の運用等に関る会社からの運用報告を、オリックス生命より提供するものであり、オリックス生命はその正確性、完全性等を一切保証しません。
・特別勘定での運用期間中は、保険関係費用、運用関係費用等の諸費用がかかります。また、解約時には解約控除が適用されることがあります。
・各特別勘定は投資信託を主な投資対象とするため、価格変動リスク、金利変動リスク、為替リスク、信用リスク等の投資リスクがあります。
したがって、金利、通貨の価格、金融商品市場における相場その他の指標にかかる変動により損失が生じるおそれがあります。